

流通経済大学論集 第47巻 (176号—179号) 総目次

著 者	題 名	号	頁
論 文			
梅木 眞	新制度派組織論と地域産業のネットワーク	1 (176)	1-20
宮本 大	労働需要の変化に伴う労働供給フローの変化が失業に及ぼす効果 —日本のマクロデータによる実証分析—	1 (176)	21-30
立川 和美	『枕草子』における語りに関する小考 —平安文学の「語り」研究を中心に—	1 (176)	31-39
池間里代子	藤村と『紅樓夢』	1 (176)	41-56
立川 和美	枕草子テキストの特性をめぐる諸条件に関する小考	2 (177)	75-86
山本 道也	竜ヶ崎市周辺のチョウ相, 1995年 —季節消長—	3 (178)	117-133
渡部 恒彦	Dodd-Frank「法の論理」の混乱とその收拾の必要条件としての 経済政策 —CDSの市場価格決定プロセスの特徴を手掛かりとして— (上)	3 (178)	135-180
梅木 眞	企業の進化と組織間ネットワーク: ネットワーク組織論序説	3 (178)	181-188
立川 和美	首都圏における大学一年生女子の化粧に関する実態 —新入生を対象とした入学時の調査—	3 (178)	189-199
尹 敬勲	韓国における民主市民教育の理論と実践	3 (178)	201-210
上原 直人	—選挙管理委員会の役割—		
居城 琢	関東地域における地域間分業関係の分析 —2000年関東地域間産業連関表の作成と東京・神奈川が関東地域や その他地域に及ぼす生産誘発効果の検討—	3 (178)	211-230
生駒 忍	親からの期待の認知と自閉症スペクトラム指数との関連	3 (178)	231-238
渡部 恒彦	Dodd-Frank「法の論理」の混乱とその收拾の必要条件としての 経済政策 —CDSの市場価格決定プロセスの特徴を手掛かりとして— (下)	4 (179)	283-319
梅木 眞	日本における長期継続的取引の展開と限界	4 (179)	321-330
岡本 紀明	金融社会論の台頭と会計研究への示唆	4 (179)	331-342
宮本 大	技術者の職務経験と能力開発 —電機・電子・情報関連産業のケース—	4 (179)	343-356
立川 和美	枕草子における「聞き書き」テキストにおける「と」「など」の用法 —「円融院の御果ての年」・「村上の先帝の御時に」を中心に—	4 (179)	357-365
居城 琢	日中韓の国際間・地域間分業構造 —2000年日中韓地域間国際産業連関表の作成を通じて—	4 (179)	367-386
尾河 直哉	『ボヴァリー夫人』講義 (下) —光, 影, 湯気, 匂い, 音, 媒介—	4 (179)	387-422
佐々木昭久	ストック・オプションの権利行使を巡る課税問題	4 (179)	423-436
研究ノート			
生駒 忍	食感を表す擬音語のおいしさ関連性は表記形態に左右されるか	1 (176)	57-59

資料・調査

村上 之伸	瑞安方言の音韻	2 (177)	87-108
知念 民雄	ニジェール共和国南西部, ニアメイ周辺におけるガリーの観察 —ヨンコト村, バラティ村, チェチェギ村の例—	4 (178)	437-452

翻 訳

尾河 直哉	ジョルジュ・アマード著『ドナ・フロールとふたりの夫』より (1) —序文から第1部第3章まで—	1 (176)	61-73
尾河 直哉	ジョルジュ・アマード著『ドナ・フロールとふたりの夫』より (2) —第1部第4章から第5章まで—	2 (177)	109-116
日埜 博司	『コリヤード 懺悔録』ポルトガル語全訳注 (附, ラテン語テキスト翻刻) —再度の査閲を経た最終テキスト—	3 (178)	239-276
尾河 直哉	ジョルジュ・アマード著『ドナ・フロールとふたりの夫』より (3) —第1部幕間—	3 (178)	277-282
日埜 博司	『コリヤード 懺悔録』ポルトガル語全訳注 (附, ラテン語テキスト翻刻) —再度の査閲を経た最終テキスト (承前) —	4 (179)	453-492